

共同の祈り

伏井 眞紀

(国際基督教大学牧師)

創造主である愛の神よ、神がつくられた世界と、その中に生きるすべての命を感謝いたします。それぞれに与えられた命の賜物が、互いに繋がり合うことによって、いっそう麗しくされることを思い、神の創造の業をたたえます。

私達は、言葉と行いとによって神の創造物を破壊し、傷つけ、悪用してきました。どうか、その一つ一つの罪をお許し下さい。

今再び、神がそのひとり子を、人の世に共に住まわせるために、この世に送られたことを信じて、感謝いたします。復活のキリストが、私達の傍らにおられ、私達と共に歩んで下さる事を信じ、私達を罪から解放して下さる事を祈り求めます。神によって解放された者として、新たに生きる者とさせてください。

平和の主よ、不正や暴力で満ちたこの社会のただ中で、神の義があらわされますように。私達を平和をつくりだす者として、世界に遣わして下さい。そして、あらゆる差別や搾取に苦しむ人々を理解する知恵と感性を与えて下さい。特に、戦時から現在に至るまで、暴力にさらされ、人間としての尊厳を奪われてきた人々の正義と名誉が回復されますように。光の主よ、歴史を照らし、私達が解明しなければならない真実を教えてください。伝えなければならないことを、次の世代に伝える誠実さを私達に与えて下さい。人と人との間にあるへだたりの壁を取り除き、異質なものとのお会いを受け入れる事のできる寛容な精神を与えて下さい。分かれた民には和解の道を備えて下さい。無知と偏見でなく、深い理解をもって共に生きることを学ばせて下さい。対話することを学ばせて下さい。

貧困の内にあつて飢え乾く人々を覚えます。神が与えて下さる命の糧と恵みが、すべての人々の上に等しく与えられますように。どうか、指導者たちや、決断権を持つ人々が、神を恐れ、社会的弱者の声を聴き、新しい未来を築くことができますように。変えなければならないことを変える勇気を与え、残すべきものを見分ける知識と判断力を与えて下さい。

私達の思いと、働きが、神に喜ばれるものとなりますように。

栄光が神にあり、造られたものすべてに平和があることを願い、これらの祈りを主イエス・キリストの名によって祈ります。アーメン。

山田 經三
(上智大学教授・神父)

私達一人一人の内に生き、住まい、働いておられる御父、御子、聖霊に祈ります。

今日のシンポジウムのテーマ、そして四名の講師の貴重なお話しを伺う時、「共生」がどれほど重要であるかを学ばせていただきました。

共生とは、地球の共通目的を目指し、共に生き、働くことであります。

Living and working together for global common goal. 相異なる民族が、固有の信仰、価値観をもって国境を接し、あるいは国内に共存するのが現在の世界であります。民族、人種、国家、文化、宗教の違いをお互いに認め、受け入れ、尊重し合い、お互いを必要としつつ共に生きる恵みに満たされて生きたいと思います。

ややもすれば「ウチ向き」になり、他国の人々、特に貧しい国の人々に対して排他的になりがちな日本にあって、「共生」を大切な課題として私達の毎日の生活、仕事において生き、多くの方々と分かちあっていく事ができますように。その恵みが私たち一人ひとりの上に豊かにありますように。

私達の主、イエス・キリストによって。アーメン。